

平成29年度

第4回 阿波市教育委員会定例会会議録

阿波市教育委員会

平成29年度第4回 阿波市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成29年7月25日(火)

開会 午後2時00分

閉会 午後2時55分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	坂 東 英 司
教育長職務代理者	大戸井 美 生
委 員	重 清 由 充
委 員	森 勝 正
委 員	庄 野 憲 二
委 員	西 淵 利 江

4 会議出席者

教 育 次 長	妹 尾 明
教 育 次 長	湯 藤 義 文
教 育 総 務 課 長	猪 尾 正
学 校 教 育 課 長	成 谷 史 代
社 会 教 育 課 長	坂 東 孝 一
学校給食センター所長	野 崎 順 子
(書記) 教育総務課係長	原 井 亜 紀

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 準要保護の承認について
- (4) 平成30年度使用小学校教科用図書採択について
- (5) その他

会議の大要は、次のとおり。

【坂東教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【坂東教育長】送付いただいております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【坂東教育長】6月14日から7月25日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

【森委員】勤労青少年ホームの常時されている活動、定期的にされているスポーツ等々の活動があるのですが、平均参加者数あるいは年間参加者数や延べ実施回数などは分かりますか。

【坂東社会教育課長】年間を通しての延べ参加人数は1,902名です。また、登録されている方は69名ということになっております。

【森委員】1,900名もいるということは、ホームの活動は必要ですし、十分活用されているという数字じゃないでしょうか。

【坂東教育長】例えば、卓球を5人がしたとしたら毎回5人ですので、5人掛ける回数になりますよね。累積していきますので。

【大戸井委員】これは誰でも加入できるのですか。

【坂東社会教育課長】阿波市内に住所をおいて勤められている方と市外の方でも阿波市内で勤められている方が対象になっております。

【森委員】マンネリ化してきて限られたメンバーですするという状況になっているというの分かるのですが、活性化する良い手立てはないでしょうかね。活性化させて、男性も女性も当然いますので、そこからカップルもできたりするのではないかなと思います。やはり、若い人が元気な町じゃないと駄目だと思うんですよね。ですから、阿波市はこれからも工夫しながら続けてほしいと思います。

【坂東教育長】みんな期待はするのですが、実際のところはなかなか集まらないのが現状です。一生懸命やっただいているのは十分わかるんです。娯楽が他にもいっぱいありますし、なかなか厳しいところです。3年くらい前に結婚したカップルが一組あったように聞いています。勤労青少年が集って、

若い人がたくさん集まって、いろいろな活動をするというのは本当に素晴らしいのですが、現実には厳しいということでもあります。

【森委員】旧町の時代に、阿波町で何十人か集まってバーベキューみたいなイベントをしていたのですが、あれも経費だけがかさんで効果が薄いとか、あるいは、何年かしているうちにマンネリ化してきたというようなことで辞めたのでしょうか。

【坂東教育長】去年度は4月だったように思いますが、バーベキューをしましたね。それでも十何人くらいでしたか。

【坂東社会教育課長】花見を兼ねた分で36名参加がありました。

【森委員】やっぱり、参加者が減ったとしてもそういう場というのは確保しておくべきじゃないかと思います。それがなくなってしまうといよいよ若者たちが寄ってくる場所が少なくなってしまうような気がするのです。

【坂東教育長】今のところ、予算は取っていますので。

【坂東教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 準要保護の承認について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【成谷学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(4) 平成30年度使用小学校教科用図書採択について

【坂東教育長】平成30年度使用小学校教科用図書採択についてですが、地方教育行政の組織および運営に関する法律第14条第7項に基づき本会議を非公開とすることを発議いたします。いかがでしょうか。

【各委員】異議なし。

(阿波市教育委員会会議規則第17条により秘密会)

(秘密会を解く)

【坂東教育長】「平成30年度使用小学校教科用図書採択について」を承認する旨を告げる。

(5) その他

【坂東教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【森委員】今日の新聞を見ていましたら、市場中学校のサッカー部が県総体優勝という非常に素晴らしい成績を収めていました。今まではソフトテニス部がよく県優勝していたのですが、いろいろな部活動で先生方や関係者の方が指導したり、サポートしたりされていることに敬意を表したいと思います。こういう公式大会に行く時は、往復の交通に要した経費というのは体育後援会の予算も使えるのではないかと思います。一方で、普段の土日に行く対外試合の行き帰りに、もし何かあったら大変なことになるんだろうなと思うのですが。私も息子がソフトテニスをしている時に、自分の息子以外にも生徒を乗せて鳴門へ行った経験があります。各学校で、もし何かあった時に個人に責任が偏らないように対策できているかどうかということについて一番現状に詳しい湯藤次長がおいでますので、現状がどうなのかなということを確認しておきたいと思います。よろしくお願いたします。

【湯藤教育次長】部活動の生徒の輸送に関しましては、ボランティアで保護者の方に頼っているというのが実情です。その際、交通事故が起こった場合は、車の保険がまず優先されます。そのようなことから、十分に気をつけて行っていただくしかないというのが現状です。ただ、部活動によっては保険に加入している部があります。それがどこまで補償していただけるかというのは分からないですけれども、交通事故に関してはまず難しいと思います。学校の管理下ですから、スポーツ振興センターは使えると思うのですが、保護者の方が怪我をした時とかそういったことに関しては、掛け捨ての保険をかけたたり、県外に限ってかけたたりといった状況がありますが、そんなにたくさんではありません。先日、ちょっと調査をしたのですが、本当にまだまだというところではあります。

【成谷学校教育課長】阿波市の補助金として、生徒派遣費というのがございます。それは、生徒1人に対して6,300円出しております。4校合わせると年間580万円くらいです。それは、県総体とか新人戦などの公式試合に関してはバスを借り上げてもらうために出しておりますが、とにかく練習試合はたくさんあります。それを全てカバーすることは予算的にはまず不可能です。ですので、練習試合については保護者の方に運転してもらってというのが現実です。それは、あくまで保護者の理解と協力を得てさせてもらっておりますが、交通事故をした場合にはどうしても車の保険が最優先されます。そのことについては非常に大きな問題であって、これはもう阿波市に限

らず全国的な問題だと思います。ただ、四国大会と全国大会に関しては、別に 200 万円の予算を毎年計上しております。それでバスを借り上げてもらうようにはしております。今度のサッカーの大会は、たまたま徳島であるのですが、バス借り上げ料として補助金は出させてもらいます。ただし、それも 100%というわけにはいかないので 10 分の 7 出させてもらっている状況です。

【大戸井委員】あくまで学校側から保護者の方にお願ひしますということじゃなくて、保護者の方からの自発的なボランティアでということですよ。

【成谷学校教育課長】そうです。

【西淵委員】各部に保護者会が存在します。保護者会の中で話し合っけて割り振りをしています。

【成谷学校教育課長】そうなんです。組織的にしっかりされているところは、保護者会で分担してもらって、「次、ここは私が出します。」と言って下さるようなのですが、なかなかそうでないところもあります。

【西淵委員】一応、部費も学校とは別に保護者会費を集めています。遠征先があまりにも遠方だったら、行って下さった方に少額ですけど燃料代や高速代とかは保護者費の中から賄うようにしています。ただ、人数の少ないところは個人的に現地集合というところもありますよね。

【大戸井委員】私たちの時は、現地集合、現地解散が原則でした。以前、自衛官のお父さんが運転していたバスのドアが開いて、子どもが落ちて亡くなって、それが非常に問題になった時がありました。結局、職も失って、刑事罰も受けて。

【西淵委員】正直怖いですよ。乗せていく方も怖いし、お任せするのも申し訳ないなと思ひながら。バスを借りるにしても、バスの運転手も雇ってければ安心ですが、バスだけ借りてきて、大型免許のある者が運転して行くということであればまた心配しますよね。結局は、親は皆応援に行くから「誰か交代で行きましょうか。」というのが現状ですよ。

【大戸井委員】4、5 人しかいない部活だったらできませんもんね。そういう保護者会のような組織がしっかりしている部だったらいいですけど。

【西淵委員】昔からあるようなところだったら、そういうのが出来てるけど、やっぱり少人数でされている学校とかは大変ですよ。先生に同乗させてもらって行くというのは、原則駄目なんですよ。

【成谷学校教育課長】はい。基本は駄目ということですよ。

【森委員】生徒派遣費を市からも出しているということなんですよけれど、もしもの時の保険金などが出るような形のを充実させておけば、ボランティアで行ってくれる人もちょっと安心なのではないかなという気はするんですけどね。部活動の活動で使える保険というのは加入しているという話ですけど。その保険が、往復の

交通事故までカバーできるかどうかというのがね。

【湯藤教育次長】交通事故に関しましては、先ほども申しましたとおり、車の保険が最優先ということで、それが使えないです。

【成谷学校教育課長】日本スポーツ振興センターの保険は使えないです。

【森委員】小学校の場合、特別な校外活動をする時には1日保険とかいうのに入ってね。掛け金も数百円で、補償もそんなに大きくはないのですが、そうすることで引率者の気持ち的にも少しは安心かなということでしたのですが。

【坂東教育長】部活動の保護者会の方もそういう1日保険に入っているのではないですか。

【湯藤教育次長】入っているところもあります。

【西淵委員】子どもの部活はちゃんと入るようにしています。保護者会から保険代をお支払いしています。移動時に一番安心なのは、レンタカーなら保険がかかっている、保護者が運転していても事故が起きた時には保険が使えるので、それはいいかなと思いますけどね。

【大戸井委員】どんな事故があっても困りますが、死亡事故が一番怖い。

【西淵委員】スポーツでかけている保険は、たぶん移動中は出なかったです。部でかけている分でも。活動中は大丈夫でも移動中は無理だったと思います。

【湯藤教育次長】本来、全て公共交通機関で移動すべきと言われていています。先ほど大戸井委員もおっしゃられていたとおり、確か小豆島で高校生が亡くなった事故の後、タクシーで移動するようとか、交通機関を使うようにというようなことを県の方からもかなり指導がありましたが、実情からしたら難しいところがあって。北岸の者がJRを使ってというと、いっそそっちの方が危ないかもというようなところもあります。

【坂東教育長】各学校によって違うと思うのですが、主としては、先ほども成谷課長が申しましたように、総体など県大会レベルまでは1人6,300円掛ける人数分で派遣費を出していますので、この度の夏の総体でもバスを雇って行ってもらおうということが出来ていると思います。練習試合等に関しては、各中学校に体育文化後援会というのがありますので、その中から補助が出ていますし。大会参加料も派遣費からすべて出していると思います。阿波市の補助金は非常に手厚いと思います。四国・全国大会出場時の補助金として、別に200万円の予算を組んでおりますが、予算オーバーした場合には、補正を行って支出しております。他の自治体でしたら、1団体で5万とか、お見立1万のみとか、あとはもう保護者や学校でしてくださいよというので、昔のように寄付を集めるというようなことをしているところもあると思います。阿波市では、そういった寄付を集めなくてもいいようにと何年前から非常に手厚く補助を行っております。

【森委員】結局、市はかなり配慮をしてくれておりますので、後の足りない分について

は、各校でもう一度見直しをして、それに対策を立てておくということをお願いしないと仕方ないですね。

【坂東教育長】手前味噌な話ですが、他と比較しても非常に恵まれているなど感じます。

【森委員】それだけ活躍している部活動があるということですよ。全国大会に行けるというのは。だから、ある意味、良い事であり、素晴らしい事なので、議会の方や市長に理解があってくださるといのは非常に有難いことですね。

【湯藤教育次長】他の自治体と比べると、考えられないくらい沢山いただいているのではないかなというのが実感です。8月の四国大会が大体出そろいまして、人数についてはまだ把握できておりませんが、各中学校からたくさん出場します。8月5日、6日に行われると思います。応援の方よろしくお願いたします。

【成谷学校教育課長】平成29年度奨学金について。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成29年7月25日

教 育 長

教育長職務代者

委 員

委 員

委 員

委 員

教育総務課係長